



観 測 帳

花山天文臺

中 村

要



彗星 4月28日にカラスコ彗星1932C 発見電報が来てから Houghton 彗星や Object Reinmuth の通知があつて急に忙がしくなつた。

Carrasco 彗星 4月9日にフアインダーで此の位置と思ふ所に30センチを向けて、30センチを覗き込むと一度で彗星が直径13分の視野に入つた。中央が特別に明るい小彗星で光度は11等弱と見つもつた。星の少い所にあつて比較星が近くにないので測微観測が出来ないので4月1, 2日には寫眞法で位置を求めた。

ラインムート星 Object Reinmuth は4月27日に Heidelberg 天文臺のラインムートが発見した急運動をする星である。

4月27日22時13.5分

赤経13時42分 7.8秒 $-10^{\circ} 41' 52''$

日々運動 $-4分 56秒 -41' 2.5等$

Object Delporte デルポート星は3月13日, 18日, 及び26日の観測から Moller 氏の計算の結果次の様な橢圓軌道が得られた。

$T = 1932 \text{ April } 4.762$

$\omega = 25^{\circ} 9.6'$

$\Omega = 171 5.0$

$i = 11 13.6$

$a = 1.79911$

$e = 0.40003 \quad \varphi = 33^{\circ} 4.8'$

$q = 1.07942$

$P = 2.4132 \text{ 年}$

以上の軌道によると地球に最も接近する時は天文單位の 0.10 となり、今まで最も近づくとして知られて居たエロスの 0.15 より近い。1911年のアルバート星と軌道が似

て居り、1924年のガニメド星等よりも珍しい小遊星らしい。然しながら星が淡いので、観測期間が短いので決定的な良好なる軌道が得られるかどうか分らぬのである。

花山では通信が電報で来なかつた爲に遂に観測の機会を失つた。小遊星である事が知れて1932 EA₁ と命名された。

小遊星パラス (2) Pallas は6月15日に衝になる。軌道面の傾斜の大きな星であるから位置は黄道面を甚だ離れて居る。

6月14日 17時 41.3分 +25° 7'

日々運動 $-0.85分 +1.2'$ 光度 9.0等

訂正 1月號に(11)バルテノーベ星と思つたのは實は(89)ジュリア星である事がモンテビデオの Osten 氏の計算で知れた。

観測急報 4月28日カラスコ彗星の発見電報を皮切りに第1號を發行した。今後は主として彗星の最近のニュースを報告する讀者は僅か5名だから、もつと發行部數を増したい。規定は3月號に出て居る。

1號 カラスコ彗星の発見

2號 コツツ彗星の推算

3號 デルポート星の軌星

4號 ホートン彗星の軌道ボレリー彗星

5號 5月の小遊星

花山便り 5月からぼちぼち彗星で急がしくなる事と思つて居る。私室の南側の日當りよい所に櫻草を植えたのはよかつたのであるが、一夜の間に葉がなくなつた。不思議な事だと思つて調べると時々顔を見せる山兔に食べられたのらしい。構内には昨年生れた子兔を加へて二三匹は居るらしいが住所は不明。